

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
たがいにみとめ合うって？	4月 (2)	(内容項目を限定しない) 1 どうとくが始まるよ	道徳科で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて考えさせながら、1年間の道徳科の学びの見通しをもたせ、意欲的に道徳科を学んでいこうとする実践意欲を育てる。	★道徳科とは、何をどのように学ぶ時間なのでしょう。 ①教科書 P4・5「どうとくで学ぶ20のとびら」を見て、これまでの道徳科の学習を振り返りながら、道徳科ではどんなことを考えていくのか、改めて理解する。 ②教科書 P6・7「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」を見て、話し合いをするときに大切な「こつ」について理解する。 ③「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」を使って、自分がどんなときに「ありがとう。」と言いたくなるかについて話し合う。 ④教科書 P8・9「どうとく みちあんない」を見て、これから1年間の学びの見通しをもつ。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○道徳科で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて考え、1年間の学びの見通しをもち、意欲的に学んでいこうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 2年生のときの道徳科の学習を思い起こしながら、これからの道徳科の学習を想起し、期待を膨らませている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 道徳科の学習では、自分で考えるだけでなく、みんなで話し合うことで考えが広がったり深まったりすることを感じている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 何を学ぶか、どのように学ぶかを理解し、1年間の学びの見通しをもって、道徳科を学んでいこうとしている。	
	4月 (3)	【あいさつの心】 B (8) 礼儀 2 あいさつ名人	友達の挨拶を見て、「本当のあいさつ名人」だと思う「ぼく」の姿などを通して、挨拶にはどんな心が大切なのかを考えさせ、礼儀の大切さを考え、相手の立場に立って真心をもって接しようとする実践意欲を育てる。	★本当の「あいさつ名人」になるには、どんなことが大切でしょう。 ①はじめに「読むときには」「話し合ったり、書いたりするときには」を読んで、それぞれの留意点を確認する。P11・12の吹き出しは、教材を読みながら確認していくことを伝える。 ②「あいさつ名人」を読んで、「ぼく」はどうして「あいさつ名人」とよばれているのかを考え、発表する。 ③「ぼく」はどうして「せいやくんこそ、本当の『あいさつ名人』だ」と思ったのかを考え、話し合う。 ④「本当の『あいさつ名人』」になるために、どんなことを大切にしたいかを考え、発表する。 ▼自分の身の回りの「あいさつ名人」を探す。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○礼儀の大切さを考え、相手の立場に立って真心をもって接しようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分はどんなふうに挨拶をしているか、また、心を込めて挨拶しているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 真心の籠もった挨拶とはどんな挨拶か、また、その意義やよさについて考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 相手の立場や気持ちに応じて真心を込めて挨拶することについて、自分の生活にどのように生かせるかを考えている。	特別活動(学級活動) 図書館活用 社会参画に関する教育
	4月 (4)	【楽しいクラスに】 C (15) よりよい学校生活、 集団生活の充実 3 きらきらカード	友達の「きらきらカード」を読み、自分も書きたいと思うほのかの姿などを通して、よりよいクラスにするためにできることを考えさせ、みんなで協力し合って楽しい学級をつくらうとする実践意欲を育てる。	★よりよいクラスにするために、どんなことができるでしょう。 ①新しい学年でどんな楽しいことができるか出し合う。 ②「きらきらカード」を読み、ほのかさんはどうして「きらきらカード」をたくさん書きたいと思ったのかを考え、発表する。 ③みんなの「きらきらカード」が増えていったとき、ほのかさんはどんなことを思ったかを想像し、話し合う。 ④クラスのみんなと力を合わせてできたことはあるか振り返り、「きらきらカード」に書く。 ▼これからも「きらきらカード」を増やす努力をすることを確認する。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○みんなで協力し合って楽しい学級をつくらうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 クラスのために自分がしていることや、これからできそうなことについて、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の意見から、よりよいクラスにするためにできることはたくさんあることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分たちのクラスを楽しく、よりよくするために、自分は今からどんなことをしていきたいかを考えている。	特別活動(学級活動) 共生

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
たがいにみとめ合うって？	5月 (2)	いじめをゆるさない心 【自分とちがう意見も】 B (10) 相互理解、寛容 4 日曜日の公園で	けんかになってしまったたくやと「ぼく」のやり取りを通して、自分と違う意見が出たときに心がけることを考えさせ、互いに考えを伝え合い、自分と異なる意見も大切にしようとする心情を育てる。	▼友達とよりよい関係を築くためにはどうしたらよいかを、「日曜日の公園で」と「道夫とぼく」を通して考えることを確認する。 ★自分とちがう意見が出たときには、どんなことを心がければよいでしょう。 ①友達と意見が違ってけんかになってしまった経験を思い起こす。 ②「日曜日の公園で」を読み、たくやと「ぼく」の意見を整理し、確認する。 ③たくやと「ぼく」は、どうすればけんかにならなかったのかを考え、話し合う。 ④自分と違う意見が出たときには、どんなことを心がければよいかを考え、話し合う。 ▼友達と意見が対立したときには、本時で学んだことを生かすことを確認する。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○自分の意見を相手に伝えるとともに、相手を理解し異なる意見も大切にしようすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 友達と対立した経験やその原因などについて、振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 それぞれの登場人物の立場をもとに、一人一人が違った意見をもつこと、また、その理由もさまざまであることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分と違う考えをもつ人に対して、どんな態度で接することが大切かと考えている。	いじめ問題 共生 福祉に関する教育
	5月 (3)	【分けへだてをせずに】 C (12) 公正、公平、社会正義 5 道夫とぼく	サッカーが得意でない道夫にいららし、声をかけなくなってしまった「ぼく」の姿などを通して、誰に対しても分け隔てなく接するにはどんな気持ちが必要かを考えさせ、公正、公平な態度で接しようとする心情を育てる。	★だれに対しても分けへだてなく接するためには、どんな気持ちをもてばよいでしょう。 ①これまでに友達を分け隔ててしまったことがないかを振り返る。 ②「道夫とぼく」を読み、「ぼく」はどんな考えで「ゴールキーパーならいいよ。」と言ったのかを想像し、発表する。 ③走太に何も答えることができなかった「ぼく」は、どんなことを思っていたかを考え、話し合う。 ④誰に対しても分け隔てなく接するために、自分はどんなことを大事にしたかを考え、発表する。 ▼教科書 P26・27 のコラム「友だちとのかかわりについて考えよう」を読み、自分の行動を振り返る。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○公正、公平な態度で接しようとすることの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 誰に対しても分け隔てなく接しているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 それぞれの登場人物や友達の考えをもとに、誰にでも公平に接することの大切さや難しさを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 公正、公平に接するために、自分はどんな姿勢でいたいかと考えている。	いじめ問題 共生
	適宜	★コラム★ 〈いじめをゆるさない心〉 友だちとのかかわりについて考えよう A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任／B (9) 友情、信頼／B (10) 相互理解、寛容／C (12) 公正、公平、社会正義				いじめ問題
	5月 (4)	【正直にあやまる心】 A (2) 正直、誠実 6 よごれた絵	友達の絵を誤って汚したことを正直に謝る「ぼく」の姿などを通して、心から謝ることのよさについて考えさせ、過ちを犯したときにはごまかさずに素直に反省し、正直に明るい心で過ごそうとする判断力を育てる。	★心からあやまることのよさは、何でしょう。 ①勇気を出して謝った経験や謝れなかった経験を思い起こす。 ②「よごれた絵」を読み、何もなかったかのように教室に戻った「ぼく」は、どんなことを考えていたかを想像し、出し合う。 ③「ぼく」があきらさんに自分のしたことを打ち明け、心から謝ったのはどうしてかを考え、話し合う。 ▼教科書 P172 の「学びの道具箱」(くらげチャート)を適宜、活用する。 ④悪いことをしてしまって、自分から正直に謝った経験や、そのときに、どんな気持ちになったかを振り返り、発表する。 ▼自分が悪いと思ったら素直に謝れるか考える。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○過ちを犯したときにはごまかさずに素直に反省し、正直に明るい心で過ごそうとすることの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分がこれまでに過ちや失敗を犯したときにどうしていたか、また、どんな気持ちであったかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、自分自身に対して正直でいることの大切さや難しさについて、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分自身に正直でいることが難しくなってしまったときに、どのような気持ちを大切にすればよいかと考えている。	図画工作科
	適宜	★心を通わそう★ 「ぼかぼか言葉」をかけてなかよくならう C (11) 公正、公平、社会正義 年間を通して、適宜、『ぼかぼか言葉』をかけてなかよくならう」を読み、「ぼかぼか言葉」をかけ合う活動を通して、クラスの誰とでもよりよい関係を築くことについての意識をもつ。				

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
たがいにみとめ合うって？	6月 (1)	【友だちとは】 B (9) 友情、信頼 7 友だち屋	「友だち屋」を始めたキツネが「本当の友達」と言われて喜び、商売をやめる姿などを通して、友達とはどんな人かを考えさせ、友達と互いに理解し合い、信頼し合い、助け合おうとする心情を育てる。	★友だちとは、どんな人でしょう。 ①自分にとっての「友達」とはどんな人かについて考え、出し合う。 ②「友だち屋」を読み、キツネはどうして「友だち屋」をしようと思ったのかを想像し、発表する。 ③「友だち一時間百円。」と言っていたキツネが、帰るときには「何時間でもただ。」と言ったのは、どんな考えからかを想像し、話し合う。 ④「友達」とはどんな人のことを考え、話し合う。 ▼教科書 P173 の「学びの道具箱」(お話カードを使った対話)を適宜、活用する。 ▼もし「友だち屋」がいたら、どう声をかけるかを想像する。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○友達と互いに理解し合い、信頼し合い、助け合おうすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分にとって友達とはどんな存在かを考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 登場人物の考えの変容や友達の考えをもとに、友達という存在についての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 友達とどんな関係を築いていきたいかを考えている。	図書館活用 いじめ問題 共生
	6月 (2)	【やさしさとは】 B (6) 親切、思いやり 8 教えてあげる？ 持ってあげる？	優しい人になりたいと思って「わたし」が取った言動などを通して、優しい人とはどんな人なのかを考えさせ、相手の状況や気持ちを思いやり、よく考えて判断し、進んで親切にしようとする判断力を育てる。	★やさしい人とは、どんな人なのでしょう。 ①友達のことを「やさしいなあ。」と思ったのはどんなときかを思い起こし、出し合う。 ②「①」の例を見て、「わたし」の「やさしさ」についてどんなことを考えたかを発表する。 ③「わたし」は、たっちゃんに何と言えよと思うかを考え、「わたし」とたっちゃんの会話を演じて、話し合う。 ▼教科書 P47 の「考えるヒント」(えんじて考えよう)を読み、役割演技をする際に活用する。 ④「②」の例を見て、「わたし」の「やさしさ」についてどんなことを考えたかを発表する。 ⑤みきちゃんに「重いから、持って。」と言われたとき、「わたし」は何と言えよと思うかを演じて考え、話し合う。 ▼教科書 P47 の「考えるヒント」(えんじて考えよう)を読み、役割演技をする際に活用する。 ⑥人に優しい人とはどんな考えをもっている人か想像し、話し合う。 ▼「考えるヒント」(どうとくでつかうことば)を読み、発表や話し合いの場面で活用する。 ⑦巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○相手の状況や気持ちを思いやり、よく考えて判断し、進んで親切にしようすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 親切、思いやり、やさしさについて、自分がどんなふうを考えているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 場面や状況、相手の立場によって、親切や思いやりの形は多様であることに気づき、本当のやさしさについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 相手に対して本当のやさしさをもって接するために、これからどんな考えや判断を大切にしようかと考えている。	いじめ問題 共生
	6月 (3)	じょうほうと向き合う 【気持ちのよい生活】 A (3) 節度、節制 9 やめられない	ゲームに依存し、やめられないまりさの姿などを通して、気持ちのよい生活をするにはどんなことが大切かを考えさせ、自分でよく考えて判断し、節度ある生活をしようとする判断力を育てる。	▼情報との向き合い方について、「やめられない」を通して考えることを確認する。 ★気持ちのよい生活をするためには、どんなことが大切でしょう。 ①自分がしたいことをしたいだけするのはよいことなのかについて考え、出し合う。 ②「やめられない」を読んで、まりさが、なかなかゲームをやめることができなかったのはどうしてかを考え、発表する。 ③次の日の朝、眠くて、気持ちが悪かったまりさは、どんなことを考えたのかを想像し、話し合う。 ④「やめられない」という気持ちを断ち切るためには、どんなことを大切にすればよいかを考え、話し合う。 ▼教科書 P54・55 のコラム「インターネットにむちゅう」を読み、インターネットとのつき合い方について考える。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○自分でよく考えて判断し、節度ある生活をしようすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分は節度のある生活を送ることができているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 どんなときに度を超してしまうか、また、そのためにどんなことが起こるかについて、節度のある生活の大切さや難しさの両面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分がすべきことや、やりすぎではいけないことなどをよく考えて行動するために、どんな心を大切にしていこうかと考えている。	健康教育 情報モラル

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
たがいにみとめ合うって？	適宜	★コラム★ <じょうほうと向き合う> インターネットにむちゅう A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任/A (3) 節度、節制				情報モラル 健康教育
	6月 (4)	【力を合わせてはたらく】 C (13) 勤労、公共の精神 10 マリーゴールド	保育園で嫌々ながら花を育てる仕事に取り組む千里が、次第に前向きな気持ちになる姿などを通して、みんなと力を合わせて働くことのよさや大切さを考えさせ、進んでみんなのために働くこととする心情を育てる。	★みんなと力を合わせてはたらくことのよさは、何でしょう。 ①これまでにみんなと力を合わせて働いたことがあるかを振り返り、出し合う。 ②「マリーゴールド」を読み、「草ぬき、大変そうだなあ。」と思っていた千里が、夢中になって草を抜いていたのはどうしてかを考え、発表する。 ③真実やグループのみんなと顔を見合わせ、にっこりしている千里は、どんなことを思っていたのかを考え、話し合う。 ④みんなで力を合わせて働いたとき、どんなことを感じたかを振り返り、発表する。 ▼誰かのために、みんなで力を合わせて、やってみたいことはあるかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○進んでみんなのために働くこととするのよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 力を合わせて働き、楽しさややりがいを感じた経験について振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 働くことのよさについて、みんなで力を合わせて働くときの連帯感や、自分の役割を果たすことの充実感など、さまざまな観点で考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 働くことの大変さを理解しながら、力を合わせて働くときには、どんな気持ちで取り組もうかと考えている。	理科 特別活動(学校行事) 環境教育 社会参画に関する教育
	7月 (1)	自然とともに 【生きている仲間】 D (18) 生命の尊さ 11 生きている仲間	トマトを育てたり、小さな生き物に声をかけたりするやよいさんの姿などを通して、生きている仲間とはどんな仲間なのかを考えさせ、自分と同様に生命あるもの全てを尊いものとして大切にしようとする心情を育てる。	▼身の回りの自然や生き物との関わりについて、「生きている仲間」と「ヤゴきゅう出大作戦」を通して考えることを確認する。 ★「生きている仲間」とは、どんな仲間なのでしょう。 ①花や野菜を育てた経験を振り返り、出し合う。 ②「生きている仲間」を読み、やよいさんはどんなことをトマトに話しかけたのかを考え、発表する。 ③やよいさんはどうしてトマトを「生きている仲間」だと思ったのかを考え、話し合う。 ④自分たちの周りには、どんな「生きている仲間」がいるか、また、どうしてそれを「生きている仲間」だと思ったのかを考え、発表する。 ▼「いただきます。」にはどんな意味があるかを考え、出し合う。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○自分と同様に生命あるもの全てを尊いものとして大切にしようすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の周りの生命にどのように関わっているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 身の回りには命あるものがたくさん存在していることや、それらの命も自分と同様に尊いものであることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の身の回りの生命に改めて目を向け、それらにどのように関わっていかうかと考えている。	理科 共生 食育
	適宜	★かんじょう いのち★ D (18) 生命の尊さ 自分の身の回りから「生きている仲間」を探し、どうして「生きている仲間」だと思ったのかを考え、命あるもの全てを大切にしようとする気持ちをもつ。	「生きている仲間」をさがしてみよう。			共生
	7月 (2)	【身近な自然に目を向けて】 D (19) 自然愛護 12 ヤゴきゅう出大作戦	学校のプールにいるヤゴを救出する活動例などを通して、身近な自然に目を向けさせ、身近な自然との関わりを振り返りながら、自然や動植物を大切にしようとする心情を育てる。	★わたしたちの近くにある自然に、目を向けましょう。 ①自分の住む地域にはどんな生き物がいるかを思い起こし、出し合う。 ②「ヤゴきゅう出大作戦」を読み、トンボについて知っていたことや初めて知ったことを発表する。 ③「ヤゴきゅう出大作戦」のように身近な生き物や自然を守ることが、どうして大切なのかを考え、話し合う。 ④学校や地域で、自分がどのように自然と関わっているかを振り返り、発表する。 ▼教科書P70・71のコラム「里山を守ろう」を読み、身近な自然についての考えを深める。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○自然や動植物を大切にすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の周りにはどんな自然があるか、また、それらとどのように関わっているかと、これまでの自分を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、身近な自然を守る意義について、さまざまな角度から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の身の回りの自然環境に改めて目を向け、それらにどのように関わっていかうかと考えている。	理科 総合的な学習の時間 特別活動(学校行事) 環境教育
	適宜	★コラム★ <自然とともに> 里山を守ろう D (18) 生命の尊さ/D (19) 自然愛護				図書館活用 環境教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的活动は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
○「学習のまとめり」を振り返った評価(4~7月) ここまで学んだ、【B(8) 礼儀】【C(15) よりよい学校生活、集団生活の充実】【B(10) 相互理解、寛容】【C(12) 公正、公平、社会正義】【A(2) 正直、誠実】【B(9) 友情、信頼】【B(6) 親切、思いやり】【A(3) 節度、節制】【C(13) 勤労、公共の精神】【D(18) 生命の尊さ】【D(19) 自然愛護】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。						
人や社会に目を向けるって？	適宜	★「考える」じゅんびたいそう★ 話し合いながら考えを深めていくことが上手になるように、教科書P73の「進め方」に即して、グループでテーマを決めて話し合い、これからの学習に生かす。				
	9月 (1)	【友だちと助け合って】 B(9) 友情、信頼 13 目の前は青空	遅れがちな友達を助け、みんなで励まし、支え合いながら坂道を登った信二たちの姿を通して、友達と助け合うとどんな気持ちになるかを考えさせ、友達と互いに理解し合い、信頼し合い、助け合おうとする心情を育てる。	★友だちと助け合うと、どんな気持ちになるでしょう。 ①困っている友達を助けたことがあるか思い出し、発表する。 ②「目の前は青空」を読み、信二はどうして太一を黙って見ていられなくなったのかを考え、発表する。 ③みんなが太一のペースに合わせてゆっくりと歩き始めたとき、信二はどんなことを思ったか考え、話し合う。 ④友達と助け合った経験や、そのとき、どんな気持ちになったかを思い出し、発表する。 ▼「7 友だち屋」で考えたことを思い出す。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○友達と互いに理解し合い、信頼し合い、助け合おうすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 友達と助け合った経験や、そのときの気持ちについて、自分を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達と協力できるときと、ついできなくなってしまうときの両面から、友達との関わりについての考えを深めている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 友達と助け合ってよりよい関係を築くために、どんな気持ちを大切にしていこうかと考えている。	特別活動(学校行事) 図書館活用 共生 福祉に関する教育
	9月 (2)	【相手のことを理かいるために】 B(10) 相互理解、寛容 14 たてわりはんそうじ	掃除分担ですれ違う夕里といつきのやり取りなどを通して、相手を理解するために大切なことについて考えさせ、自分の考えを相手に伝えるときに、異なる意見も大切にしようとする実践意欲を育てる。	★相手のことをりかいるために、大切なことは、何でしょう。 ①相手の気持ちが分からなくて困ったことはあるか思い出し、出し合う。 ②「たてわりはんそうじ」を読み、さっさとほうきで廊下を掃き始めたとき、夕里はどんなことを思っていたか考え、出し合う。 ③いつきの姿を見つめながら、夕里はどんなことを思ったかを想像し、話し合う。 ④相手の話を聞くときに大切なことは何かを考え、話し合う。 ▼「考えるヒント」(こんなかつどうで考えることもできるよ)を適宜、活用する。 ▼教科書P47の「考えるヒント」(えんじて考えよう)を読み、役割演技をする際に活用する。 ▼今後、気持ちを伝え合うような場面があったら、本時に考えたことを参考にすることを確認する。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○自分の考えを相手に伝えるときに、異なる意見も大切にしようすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 相手に自分の考えを伝えているか、また、自分とは異なる相手の意見に耳を傾けようとしているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の意見を聞いて、人とわかり合うために大切なことをさまざまな視点から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 互いに理解し合えるように、自分はどんなことを大切にしていきたいかを考えている。	特別活動(学級活動) 共生

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
人や社会に目を向けるって？	9月 (3)	【かけがえない命】 D (18) 生命の尊さ 15 大切なものは何ですか	虫たちがそれぞれのいちばん大切なものを話し合う姿などを通して、生命を大切にすることはどういうことかを考えさせ、生命の尊さを感じ、自他の生命を大切にしようとする心情を育てる。	★命を大切にすることは、どういうことでしょうか。 ①自分の大切なものを思い起こし、出し合う。 ②「大切なものは何ですか」を読み、セミはみんなの話を思い出しながら、どんなことを考えたかを想像し、発表する。 ③命を大切にすることはどういうことか、また、命を大切にするためにどんなことに気をつけたいと思うかを考え、話し合う。 ▼この話を家の人といっしょに読んで、命について話し合う。 ④巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○生命の尊さを感じ、自他の生命を大切にしようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 命の大切さについて、自分はどのような考えをもっているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分以外のさまざまな人が、自分の命を大切に思ってくれていることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 たった一つしかない命を大切に、その命を懸命に生きようと考えている。	理科
	9月 (4)	【度をすごすことなく】 A (3) 節度、節制 16 黄金の魚	願いがかなっても満足せず、欲を深めるおばあさんが、最後は元の姿に戻る話などを通して、度を越さずに行動するために大切なことを考えさせ、よく考えて節度のある生活を送ろうとする判断力を育てる。	★度をすごすことなく行動するために大切なことは、何でしょうか。 ①これまでに何かをしすぎてしまったなと思ったことはあるかを振り返り、出し合う。 ②「黄金の魚」を読み、次から次へと願いがかなっていると、おばあさんはどんなことを思っていたかを考え、発表する。 ③元の姿に戻った後、おばあさんはどんなことを考えたのかを考え、話し合う。 ④度をすごすことなく行動するために大切なことは何かを考え、話し合う。 ▼しすぎてしまわないためには、どうすればよいのか考え、出し合う。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○よく考えて節度のある生活を送ろうとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 度を過ぎた行動を取ってしまっていないかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 登場人物や友達の考えをもとに、わがままな行動を取らないようにすることの難しさや、わがままな行動を取ってしまうことによる影響などについて、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の欲と向き合い、度を過ぎないようにすることについて考え、自分の生活に生かそうとしている。	図書館活用 消費者教育
	10月 (1)	【はたらくときには】 C (13) 勤労、公共の精神 17 三人の仕事	3人の村人が新しい石橋の建設に力を尽くそうと、それぞれの思いを語る話などを通して、働くときにはどんな思いが大切かを考えさせ、進んでみんなのために働くとする実践意欲を育てる。	★はたらくときには、どんな思いが大切でしょうか。 ①働くことが好きか振り返る。 ②学校でどんな仕事をしているか、また、その仕事をして大変なのはどんなところか、よかったなと思うところはどんなところかを思い出し、発表する。 ③「三人の仕事」を読み、ダニエル、セサル、マリオの考えの中でいちばん心に残ったのはどの考えか、その理由といっしょに発表する。 ④自分の身の回りにもいいなと思う働き方をしている人があるか思い出し、紹介し合う。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○進んでみんなのために働こうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 学校での仕事に、自分がどのような気持ちで取り組んでいるかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分の仕事に前向きに取り組むことについて、その難しさや大切さの両面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の仕事に取り組むときには、どんな気持ちを大切にしていこうかと考えている。	キャリア教育 社会参画に関する教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ（★）・学習活動（中心的な活動は黒丸数字） 適宜取り組むことが有効な学習活動（▼）	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり	
人や社会に 目を向ける って？	10月 (2)	【きまりは何のため】 C（11）規則の尊重 18 きまりのない国	約束やきまりを守るのが苦手な けんたが、きまりのない国へ行っ て考えを変える姿などを通して、 きまりは何のためにあるのかを 考えさせ、約束や社会のきまりの 意義を理解し、それらを守ろうと する心情を育てる。	★きまりは、何のためにあるのでしょうか。 ①世の中にきまりがなかったらどうなるかを想像し、出し合う。 ②「きまりのない国」を読み、けんたはどうして「ああ、き まりのない国って、ないのかな。」と言ったのかを考え、 発表する。 ③「やっぱり、元の国にもどりたいな。」と言ったとき、けん たはどんなことを考えていたかを想像し、話し合う。 ④きまりは何のためにあるのかを考え、話し合う。 ▼教科書 P97 の「考えるヒント」（図を使って考えよう）、 教科書 P172 の「学びの道具箱」（表）を適宜、活用する。 ▼身の回りにあるきまりを思い起こし、もしそのきまりがな かったらどんなことが起こるかを想像する。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ろうとする ことについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の身の回りにあるきまりや約束について、これまで自分は どのように考え、守ってきたかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達との話し合いを通して、きまりや約束が存在することの 意味について、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 どのような気持ちをもって、きまりや約束を守って行動しよ うかと考えている。	特別活動（学級活動） 安全教育 法教育	
	適宜	★なんだろう なんだろう★ 「うそ」って、なんだろう。 関連する内容項目 A（4）正直、誠実 A（1）善悪の判断、自律、自由と責任／B（6）親切、思いやり 家庭学習や朝の読書活動の時間などを活用して、「なんだろう なんだろう」を読み、「うそ」とは何なのか、考えてみる。					
	○「前期」を振り返った評価（4～10月2週目） ここまでで学んだ、【B（8）礼儀】【C（15）よりよい学校生活、集団生活の充実】【B（10）相互理解、寛容】【C（12）公正、公平、社会正義】【A（2）正直、誠実】【B（9）友情、信頼】【B（6）親切、思いやり】【A（3）節度、節制】【C（13）勤労、公共の精神】【D（18）生命の尊さ】【D（19）自然愛護】【B（9）友情、信頼】【B（10）相互理解、寛容】【D（18）生命の尊さ】【A（3）節度、節制】【C（13）勤労、公共の精神】【C（11）規則の尊重】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。						
	10月 (3)	【それぞれのよいところ】 A（4）個性の伸長 19 三年元気組	友達の言葉から自分のよさを見 つける「ぼく」の姿などを通して、 自分のよさを見つけ、伸ばすため には、どんな気持ちが必要かを考 えさせ、自分の特徴に気づき、長 所を伸ばそうとする実践意欲を 育てる。	★自分のよいところを見つけ、のばすためには、どんな気持ち が大切なのでしょう。 ①今、自分ががんばっていることを思い出し、発表する。 ②「三年元気組」を読み、春人に「友広くんは、スピーチで 何を話すの？」ときかれたとき、どうして「ぼく」は困っ ていたのかを考え、発表する。 ③「読書」のことをスピーチで話そうと決めたとき、「ぼく」 はどんなことを思っていたかを想像し、話し合う。 ④自分のよいところはどんなところを見つける。 ▼「考えるヒント」（こんなかつどうで考えることもでき るよ）を適宜、活用する。 ▼これからも自分のよいところを見つけていくことを確認 する。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○自分の特徴に気づき、長所を伸ばそうとすることについて考 えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分のよいところやがんばっていることについて、自分を見 つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 一人一人にそれぞれの長所があることや、その見つけ方はさ まざまであることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の好きなこと、得意なことを発見し、それらを伸ばして いくために、どんなことを大切にしていこうかと考えている。	国語科 音楽科 特別活動（学校行事） 共生 キャリア教育	

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
人や社会に目を向けるって？	10月 (4)	【正しいと思うことを】 A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任 20 言わなкゃ	正しいと思うことをしっかり言えない自分を嫌に思う「わたし」の姿などを通して、正しいと思うことを行うために大切なことを考えさせ、正しいと判断したことは、自信をもって行おうとする判断力を育てる。	★正しいと思うことを行うために大切なことは、何でしょう。 ①正しいと思うことを「言わなкゃ。」と思っているのに、言えなかったことがあるかを思い出し、発表する。 ②「言わなкゃ」を読み、「①」と「②」の場面で、「わたし」は「言わなкゃ。」と思っていることをどうして言いたせなかったのかを考え、発表する。 ③「①」と「②」の場面で、ゆり子に話しかけられた「わたし」は、本当はどうしたかったのかを演じて考え、話し合う。 ▼教科書 P47 の「考えるヒント」(えんじて考えよう)を読み、役割演技をする際に活用する。 ④正しいと思うことを行うために大切なことは何かを考え、話し合う。 ▼正しいと思うことを行うために大切だと思うことを、生活の中で生かしていくことを確認する。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○正しいと判断したことは、自信をもって行おうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 正しいと思っていることを行動に移すことができなかった経験について振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 正しいと思っていることを行動に移すことの難しさや大切さについて、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の考えを伝えることの難しさについて考え、正しいと思うことを行動に移すときには、どんな気持ちを大切にすればよいかを考えている。	特別活動(学級活動) いじめ問題
	11月 (1)	【公平なたいどで】 C (12) 公正、公平、社会正義 21 なおとからのしつもん	人によって態度を変えるなおとの姿などを通して、公平に接することが大切な訳を考えさせ、誰に対しても分け隔てせず、公正、公平に接しようとする判断力を育てる。	★公平に接することは、どうして大切なのでしょう。 ①「公平」とは、どのような意味かを確認する。 ②「なおとからのしつもん」を読み、「①」の場面のじゅんやとひろし、「②」の場面のほなみとゆかこはどんな気持ちだったか、また、周りの人はどう感じたかを考え、出し合う。 ③「なんで、人によってたいどをかえたらだめなの？」というなおとの質問に、自分ならどう答えるかを考え、話し合う。 ▼教科書 P47 の「考えるヒント」(えんじて考えよう)を読み、役割演技をする際に活用する。 ④誰に対しても公平に接することのできる人はどんなことを大切にしているかを想像し、話し合う。 ▼分かっている人とも公平に接することができないときは、どうしたら乗り越えられるかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○誰に対しても分け隔てせず、公正、公平に接しようとすることの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまで、誰に対しても公平に接することができていたかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 人に公平に接することのできない立場や、不公平な扱いを受けた立場、それを見ている立場など、さまざまな視点から、誰に対しても公平に接することの大切さについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 誰に対しても公平に接することの大切さや難しさについて考え、自分の生活に生かそうとしている。	いじめ問題 共生
	11月 (2)	【明るい心で】 A (2) 正直、誠実 22 モンちゃんとケロきち	旗作りの投票での過ちを正直に伝えて謝る理子の姿などを通して、正直でいることのよさを考えさせ、過ちを偽ったりごまかしたりせずに素直に改め、明るい心で生活しようとする判断力を育てる。	★正直でいることのよさは、何でしょう。 ①正直に話すことがちよっぴり苦しいときがないか思い起こす。 ②「モンちゃんとケロきち」を読んで、「だまっておけばいいよ。」という声が聞こえたような気がしたとき、理子はどんなことを考えたかを想像し、出し合う。 ③みんなから、また拍手が起こったとき、理子はどんなことを思ったかを考え、話し合う。 ④これまで正直でいてよかったと思うことはあるか、また、それはどんなときか思い出す。 ▼正直に生活するためにはどんなことを心がければいいか考える。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○過ちを偽ったりごまかしたりせずに素直に改め、明るい心で生活することの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 他者はもちろん、自分自身をも偽ることなく正直に生きているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分の過ちを認め、自分自身に正直でいることの大切さや難しさについて考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 正直な行動を取るために、どんな気持ちを大切にしていけばよいかを考えている。	特別活動(学級活動)

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
人や社会に目を向けるって？	11月 (3)	【ささえてくれている人を 思っ】 B (7) 感謝 2 3 とくジーの おまじない	長年温かい言葉をかけ続けられ るとくジーに感謝する「わたし」 の姿などを通して、生活を支 えてくれる人にどんな気持ちで 接するのがよいかを考えさせ、尊 敬と感謝の心で接しようとする 実践意欲を育てる。	★自分の生活をささえてくれている人に、どんな気持ちでせ ずればよいでしょう。 ①「自分がお世話になっている人」と聞いて、思い浮かべる 人を出し合う。 ②「とくジーのおまじない」を読み、とくジーに「おかえり、 元気で、またあした。」と言われると、「わたし」はどうし て元気が出てくるのかを考え、発表する。 ③「わたし」はとくジーに、どんな思いを込めたおまじない の言葉を言ったかを演じて考え、話し合う。 ▼教科書 P47 の「考えるヒント」(えんじて考えよう)を 読み、役割演技をする際に活用する。 ④自分たちの生活をささえてくれている人を思い出し、その人 にどんな「ありがとう」を伝えたいかを考え、発表する。 ▼感謝を伝えたい相手に感謝を伝える。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○生活をささえてくれる人に尊敬と感謝の心で接しようとする ことについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまでの自分の生活が、どんな人に支えられてきたのかに ついて振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分たちの生活が、さまざまな人に支えられていることや、 その人たちにさまざまな感謝の気持ちをもつことができる ことについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 身の回りの人のどのようなところに感謝の気持ちをもち、ど のように表していこうかと考えている。	社会参画に関する教育
	11月 (4)	【昔からつたわる物】 C (16) 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度 2 4 ふろしき	日本に古くから伝わるふろしき のすばらしさを知り、興味をもつ 「わたし」の姿などを通して、日 本に昔から伝わる物に興味や関 心をもたせ、日本古来の文化に親 しもうとする心情を育てる。	★日本に昔からつたわる物に、親しみましょう。 ①ふろしきを使った経験について振り返り、発表する。 ②「ふろしき」を読み、実際にふろしきでさまざまな物を包 み、気づいたことを発表する。 ③「わたし」の「すてきな発見」とはどんなことかを考え、 話し合う。 ▼ふろしきのように、日本で昔から使われている道具には、ど んなものがあるかを、社会科と関連させながら思い起こす。 ▼教科書 P174 の「日本につたわる『くらしの道具』」を見る。 ④巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○日本古来の文化に親しもうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の国の文化に関して、自分が知っていることやこれまで の経験を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 話し合いを通して、日本に昔から伝わる物のさまざまなよさ について気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 日本の伝統や文化に興味をもち続けるために、どのような気 持ちは大切にしようかと考えている。	社会科 伝統文化教育
	適宜	★学びのじゅんぴ★ 「美しいもの」をさがしてみよう D (20) 感動、畏敬の念 次の「まわりを見つめて」の学習の準備として、毎日の生活の中で「美しいな。」「きれいだな。」「すごいな。」と思うものを探して、教科書 P125 の「①」に書いておく。				
	12月 (1)	【美しいと感じるもの】 D (20) 感動、畏敬の念 2 5 まわりを見つめて	生活の中で「美しいな」「きれい だな」と感じるものを友達と伝 え合う活動などを通して、さま ざまな感じ方や感動に共感さ せ、自然の美しさや人の心の気 高さをを感じる心を大切にしよう とする心情を育てる。	★美しいと思うものについて、考えましょう。 ①毎日の生活の中で見つけた「美しい」と思うものを発表す る。 ②身の回りで見つけた「美しいもの」について、友達に伝え たい美しさはどんなところかを考え、友達と伝え合う。 ③友達の見つけた「美しいもの」を知って感じたことや気づ いたことを話し合う。 ▼人によって「美しい」と感じるものが違うことを理解し、 また、目に見えない「美しいもの」があることについても 考える。 ④巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○自然の美しさや人の心の気高さをを感じる心の大切さにつ いて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 身の回りにある物事の、どんなところに美しさを感じている かについて、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 人が美しさを感じる対象はたくさんあり、その理由もさまざま であることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 身の回りにある美しいと思うものを見つけ、それらを美しい と感じる心を大切にしていこうと考えている。	図画工作科

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ（★）・学習活動（中心的活动は黒丸数字） 適宜取り組むことが有効な学習活動（▼）	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
人や社会に目を向けるって？	12月 (2)	ともに生きる 【他の国の人となかよくなるために】 C（17）国際理解、国際親善 26 マサラップ	外国から来たリサ先生との関わりから、他国の言語や食べ物に興味を抱く「ぼく」の姿などを通して、他国の人と仲よくなるために大切なことを考えさせ、他国のものに親しみ、関心をもとうとする心情を育てる。	▼さまざまな人と共に生きるために大切なことは何か、「マサラップ」と「親切がいっぱい」を通して考えることを確認する。 ★他の国の人となかよくなるために大切なことは、何でしょう。 ①他の国の文化について、知っていることを出し合う。 ②「マサラップ」を読み、「ぼく」は、どうしてフィリピン語で「マサラップ」と言ってみたかったのかを考え、発表する。 ③笑顔になったリサ先生を見て、「ぼく」はどんなことを思ったかを考え、話し合う。 ④他の国のことで、すてきな、すばらしいと思ったことがあるか、また、それはどんなことかを振り返り、発表する。 ▼教科書P134・135のコラム「くらしの中のユニバーサルデザイン」を読み、「共に生きる」ことについて、考えを深める。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○他国のものに親しみ、関心をもとうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 他国の文化について、自分はどんなことを知っているか、また、どんなところをすばらしいと思っているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 他国の人や文化などのさまざまな側面に対して、興味や関心を広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 他国の人々や文化に親しむために、どのような気持ちを大切にしようかと考えている。	外国語活動 総合的な学習の時間 特別活動（学校行事） 共生 国際理解教育 食育
	12月 (3)	【こまっている人がいたら】 B（6）親切、思いやり 27 親切がいっぱい	町の様子を描いた絵の中から親切な人を探す活動を通して、親切にするとどんないいことがあるのかを考えさせ、相手の状況や気持ちなどを考えて、相手を思いやり、進んで親切にしようとする実践意欲を育てる。	★親切にすると、どんないいことがあるのでしょうか。 ①困っている人がいたら自分ならどうするかを考え、発表する。 ②「親切がいっぱい」の絵の中にいる親切な人を探し、その人たちはどんなことを思って親切な行いをしているのか考え、出し合う。 ③親切にするときにはどんなことを考えればよいか想像し、話し合う。 ④巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○相手の状況や気持ちなどを考えて、相手を思いやり、進んで親切にしようとして考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分は困っている人に気づいたとき、どのように接しているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 思いやりの行動や、その行動を取る理由はさまざまであることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 相手の状況や気持ちを考えて、どのような思いやりのある行動が取れそうかと考えている。	社会科 共生 福祉に関する教育
	適宜	★コラム★ <ともに生きる> くらしの中のユニバーサルデザイン B（6）親切、思いやり／C（17）国際理解、国際親善				
○「学習のまとめり」を振り返った評価（9～12月） ここまで学んだ、【B（9）友情、信頼】【B（10）相互理解、寛容】【D（18）生命の尊さ】【A（3）節度、節制】【C（13）勤労、公共の精神】【C（11）規則の尊重】【A（4）個性の伸長】【A（1）善悪の判断、自律、自由と責任】【C（12）公正、公平、社会正義】【A（2）正直、誠実】【B（7）感謝】【C（16）伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】【D（20）感動、畏敬の念】【C（17）国際理解、国際親善】【B（6）親切、思いやり】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。						

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
自分をのばすって？	適宜	★学びのじゅんぴ★ 「わたしらさ」を見つけよう A (4) 個性の伸長 次の『『わたしらさ』をのばすために』の学習の準備として、自分の好きなこと、得意なこと、苦手なこと、これからがんばりたいと思っていることを、教科書P137に書いておく。				
	1月 (2)	【自分を見つめて】 A (4) 個性の伸長 2 8 「わたしらさ」を のばすために	自分らしさを見つける活動と、世界で活躍する二人の子ども時代の話などを通して、自分らしさを伸ばすためにどんなことができるかを考えさせ、自分の特徴に気づき、長所を伸ばそうとする実践意欲を育てる。	★「わたしらさ」について考えましょう。 ①どんなものを「わたしらさ」だと思うか、発表する。 ②自分が見つけた「わたしらさ」を、グループで発表し合い、どんなことを考えたか、話し合う。 ③若田光一さんや高田真希さんの文章を読み、自分の「わたしらさ」を伸ばしていくために、どんなことができるかを考え、発表する。 ▼「わたしらさ」はどうやって伸ばしていけるのかを考える。 ④巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○自分の特徴に気づき、長所を伸ばそうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分自身のよさはどんなところかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 好きなこと、得意なこと、苦手なこと、がんばりたいことなど、さまざまな視点から、「自分らしさ」について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分自身を高めていくために、「自分らしさ」をどう伸ばしていこうかと考えている。	特別活動(学級活動) キャリア教育
	1月 (3)	【よりよい学校に】 C (15) よりよい学校生活、 集団生活の充実 2 9 学校のぶどう	学校のぶどうの世話をしてくれる人や上級生の話聞いて、それを手伝おうとする和広と正太の姿などを通して、よりよい学校にするために、一人一人ができることを考えさせ、楽しい学校をつくらうとする実践意欲を育てる。	★よりよい学校にするために、一人一人ができることは、どんなことでしょうか。 ①自分の学校のどんなところが好きかを考え、発表する。 ②「学校のぶどう」を読み、ぶどうの世話をする安田さんや栽培委員の人たちの話を聞いて、和広と正太はどんなことを考えたかを想像し、発表する。 ③和広と正太は、どんな思いで「おてつだいをしてもいいですか。」と言ったのかを考え、話し合う。 ④学校のために自分にできそうなことはどんなことかを考え、発表する。 ▼自分の学校にも、学校のために働いている人はいるか、また、その人達はどんなことをしてくれているかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○よりよい学校をつくらうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の学校の好きなところや、自分が学校でどんなことをしてきたかについて振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 さまざまな人が学校生活を支えてくれていることや、自分たちにできることがたくさんあることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 学校生活に積極的に関わるために、自分にはどんなことができるかと考えている。	特別活動(学級活動) 社会参画に関する教育
	1月 (4)	【きまりの大切さ】 C (11) 規則の尊重 3 0 ボールのきまり	「ボールのきまり」を守らなくなった光二が、友達の一言から考えを改める姿などを通して、きまりを守らなければならない訳を考えさせ、きまりの意義やよさを理解し、守ろうとする実践意欲を育てる。	★きまりを守らなければならないのは、どうしてでしょう。 ①自分たちのクラスには、みんなで決めた決まりはあるか振り返る。 ②「ボールのきまり」を読み、光二たちはどうしてクラスのきまりを守らなくなったのかを考え、出し合う。 ③「でもそれは、クラスのきまりじゃないだろ。」と言ったとき、光二はどんなことを思っていたかを想像し、話し合う。 ④きまりを守ることはどうして大切なのかを考え、話し合う。 ▼分かっているのに、ついきまりを守れなくなりそうときは、どんなことを思い出すとよいのかを考え、発表する。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○きまりの意義やよさを理解し、それを守ることの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 身の回りにある約束やきまりを守っているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 人それぞれの意見や立場を尊重しながらきまりや約束を作ることの大切さや、守り続けることの難しさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 約束やきまりの意義やよさについて理解し、それらを守っていこうと考えている。	特別活動(学級活動) 共生 法教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
自分をのばすって？	2月 (1)	【よいと思ったことは】 A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任 3 1 よわむし太郎	よわむし太郎が、殿様から白い鳥を守る姿などを通して、よいと思ったことを行うときに大切な心について考えさせ、正しいと判断したことは自信をもって行い、正しくないことは止めようとする心情を育てる。	★よいと思ったことを行うときに大切なのは、どんな心でしょう。 ①「よわむし太郎」という名前から、どんな人かを想像し、出し合う。 ②「よわむし太郎」を読み、殿様の前に立ち上がったとき、太郎はどんな気持ちだったかを考え、発表する。 ③「おまえも鳥といっしょに しとめてしまうぞ。」と言われても動かなかった太郎は、どんなことを考えていたのかを想像し、話し合う。 ④「よわむし太郎」という名前が消えたのはどうしてかを考え、発表する。 ▼勇気を出して、正しいと思ったことを言った人の話を読む。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○正しいと判断したことは自信をもって行い、正しくないことは止めようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまで、自分がよいと判断したことを行動に移していたかと、自分を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 正しいと思うことを行動に移すことや、よくないことをしようとする人を止めることの難しさについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 どんな気持ちを大切に、正しいと思うことを行動に移していこうかと考えている。	図書館活用 いじめ問題 共生
	2月 (2)	【家族への思い】 C (14) 家族愛、家庭生活の充実 3 2 漢字に思いをこめて	家族への思いを漢字1字に込める活動などを通して、家族に伝えたい思いを考えさせ、父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としてできることをしていこうとする実践意欲を育てる。	★家族に、あなたの思いをつたえましょう。 ①四つの子童作例を読む。 ②自分の家族への思いを、漢字1字に込めて書き、話し合う。 ③自分は家族の一員としてこれからどんなことをしていきたいと思うかを考え、発表する。 ④巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○父母、祖父母を敬愛し、家族の一員として、自分にできることを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分は普段、家族に対してどんな思いをもっているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 児童作例や友達から、家族に対する思いはさまざまあることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 家族に対してどのような思いをもち、どのように行動に表していこうかと考えている。	国語科
	2月 (3)	【つたえたいありがとう】 B (7) 感謝 3 3 ありがとうの気持ちをこめて	大震災の復旧に当たる警察や自衛隊の人に挨拶を続けたつかさと姉の姿などを通して、生活を支えてくれている人に、どのような思いを伝えたいかを考えさせ、尊敬と感謝の気持ちを表そうとする心情を育てる。	★生活をささえてくれている人に、どのような思いをつたえたいですか。 ①どんなときに、「ありがとう」と思うかを思い起こし、発表する。 ②「ありがとうの気持ちをこめて」を読み、つかさはどんな気持ちで、働く人たちに挨拶を始めたのかを考え、発表する。 ③雨の日でも「ばく、やっぱり行くよ。」と言ったつかさは、どんな思いだったのかを考え、話し合う。 ④自分たちの生活を支えてくれる人にはどんな人がいるか、また、どのように支えてもらっているかを考え、話し合う。 ▼自分たちの生活を支えてくれている人に、思いを込めてメッセージを書く。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○生活を支えてくれている人に、尊敬と感謝の気持ちを表そうとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分が人に感謝の思いを抱くのはどんなときかと、自分を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 話し合いを通して、自分たちがさまざまな人に、さまざまな形で支えてもらっていることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 生活を支えてくれている人に対して感謝の気持ちをもつためには、どんなことを大切にしようか、また、どのように表そうかと考えている。	国語科 社会科 社会参画に関する教育 防災教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
自分をのばすって？	3月 (1)	【命のふしぎ】 D (18) 生命の尊さ 3 4 ヌチヌグスージ ——命の祭り	島の墓参りでオバアに聞いた話から、命のつながりについて考えるコウちゃんの姿などを通して、命にはどんな不思議があるのかを考えさせ、受け継がれる命の尊さを知り、大切にしようとする心情を育てる。	★命には、どんなふしぎがあるのでしょうか。 ①「ご先祖様」とは、どんな人たちかを確認する。 ②「ヌチヌグスージ——命の祭り」を読み、コウちゃんは、どんなことが「なんだかふしぎ」に思えたのかを考え、発表する。 ③「命をありがとう！」と言ったコウちゃんはどんなことを思っていたのかを想像し、話し合う。 ④この話を読んで、命についてどんなことを考えたかを話し合う。 ▼命について書かれた本を読む。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○受け継がれる命の尊さを知り、大切にしようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 命のつながりについて、自分がどのような考えをもっているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 命が受け継がれていくことの不思議さや雄大さなどのさまざまな面から、命を大切にすることについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 たくさんの人から受け継がれてきた自分の命を大切にしていこうと考えている。	図書館活用
	3月 (2)	【ゆめに向かって】 A (5) 希望と勇気、努力と強い意志 3 5 スーパーパティシエ物語	夢を実現したパティシエの辻口博啓さんの実話などを通して、夢をかなえるためには、どんな気持ちが必要かを考えさせ、目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜こうとする実践意欲を育てる。	★ゆめをかなえるためには、どんな気持ちが必要なのでしょうか。 ①自分の将来の夢を伝え合う。 ②「スーパーパティシエ物語」を読み、ヒロのノートはどうして瞬間に増えていったのかを想像し、発表する。 ③ヒロがケーキ作りの修行をがんばることができたのは、どんな思いがあったからかを考え、話し合う。 ④自分の夢は何か、また、その夢に向かってどんなことをしていきたいかを考え、発表する。 ▼夢に向かってがんばっている人を探す。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜こうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 今の自分はどのような目標や夢をもっているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 夢をもつことのよさや、夢をかなえるためにしなければならない努力などについて、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の夢に向かって、これから自分にはどんなことができるかと考えている。	キャリア教育 食育
○「学習のまとめ」を振り返った評価(1～3月) ここまでで学んだ、【A (4) 個性の伸長】【C (15) よりよい学校生活、集団生活の充実】【C (11) 規則の尊重】【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【C (14) 家族愛、家庭生活の充実】【B (7) 感謝】【D (18) 生命の尊さ】【A (5) 希望と勇気、努力と強い意志】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。 ○「後期」を振り返った評価(10月3週目～3月) ここまでで学んだ、【A (4) 個性の伸長】【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【C (12) 公正、公平、社会正義】【A (2) 正直、誠実】【B (7) 感謝】【C (16) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】【D (20) 感動、畏敬の念】【C (17) 国際理解、国際親善】【B (6) 親切、思いやり】【A (4) 個性の伸長】【C (15) よりよい学校生活、集団生活の充実】【C (11) 規則の尊重】【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【C (14) 家族愛、家庭生活の充実】【B (7) 感謝】【D (18) 生命の尊さ】【A (5) 希望と勇気、努力と強い意志】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。						